

【オリコンサルグローバルら実証 風力と太陽光を活用 サウジでハイブリッド再エネ発電を構築】

サウジでハイブリッド再エネ発電を構築

オリコンサルら実証

風力と太陽光を活用

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバル（OCG）と
東芝エネルギーシステムズ
（東芝ESS）は、新エネル
ギー・産業技術総合開発機
構の支援の下、サウジアラビ
アのサウジアラビア電力公
社（SEC）と共同で、「ハイ
ブリッド再エネ発電シス
テム」の実証事業を開始し
た。期間は2028年5月
まで。

風力発電と太陽光発電の2
種類の再生可能エネルギーと
蓄電池システムをエネルギー
マネジメントシステム（EMS）
で制御する。

SECがサウジアラビアの
リヤド郊外に保有する既存風
力発電設備の実証サイトに、
新たに太陽光発電設備と蓄電
池システムを設置し、それら
を統合的に制御するEMSを
導入する。

蓄電池システムは、繰り返し
充放電しても劣化しにくい
長寿命性能で、再生エネルギ
ー発電量の変動抑制に適する
出力型蓄電池と、電力ピーク
シフトに適する容量型蓄電池

の2種類を用意する。

実証では、出力変動が激し
い再エネの安定電源化、再エ
ネの余剰電力の活用、既設変
電所の過負荷の抑制の実現を
目指す。また、ハイブリッド
再エネ発電システムの経済性
を高めるため、蓄電池の出力
・容量の最適化を実証するほ
か、温室効果ガス削減量のモ
ノ

ニタリングもする。

OCGは、実証設備の全体
設計と供給、温室効果ガス削
減量と導入設備の経済性を評
価する。東芝ESSは、これ
まで国内外で蓄積してきたE
MSと蓄電池システムの知見
を実証設備の設計に生かし、
実証から得られるデータを解
析する。